

ESD の推進
子どもたちのよさや可能性を引き出し伸ばす教育
教育を核とした持続可能な地域社会の構築

21世紀をたくましく生き抜いていける子ども

目指す児童像

自ら考え、行動できる子ども
思いやりの心を育ていく子ども
運動・スポーツが大好きな子ども

「たくましく」⇒

「友だちと手を取り合い、周囲を巻き込み、他者の笑顔を自分の喜びとすることができる力」
「コミュニケーションをとり、折り合いをつけながら、自身や集団としての最適解を求めていく力」

目指す教職員像

子どもの小さな伸びを大切にする教職員
失敗を恐れず、学び、挑戦し続ける教職員
自身の生き方と未来の学校像を思い描ける教職員

経営方針

—やさしく たくましい【こころづくり】—

- 学級経営
 - ・すべての子どもの自己肯定感を育む～子どもの小さな伸び～
 - ・みんな楽しい、自分も楽しい
 - ・失敗は挑戦の証「失敗していいんだよ」
- 特別支援、通級指導
 - ・すべての子どもたちへの自立と社会参加に向けた主体的な取組を支援する。・保護者と共に考え、チーム、校内委員会で対応
- こころづくり3本柱
 - ・あいさつ（私たちが、とにかく笑顔で‘与え’続けよう！）
 - ・歌声（子どもの心を解き放とう！）
 - ・清掃（心を磨かせよう！ 割れ窓理論）
- 異年齢活動、なかよしグループ活動の充実
- いじめ防止対策推進
 - ・全教職員が一枚岩で「いじめは絶対に許さない」
 - *道徳の充実
- 教育相談 ・ 援助希求力の育成

愛だけでは
変えられない



でも
愛なくして
成し得ない

—しなやかで じょうぶな【からだづくり】—

- 体育科授業
 - ・「うごきづくり」「なかまづくり」の指導を通した、肯定的集団づくり。
- 業間体育
 - ・心と身体の解放
 - 「一生懸命って素敵なんだ！いいことなんだ！」
 - ・基礎感覚の向上（体づくり運動）
 - ・人間関係づくり（学級遊び、異学年交流、余暇活動）
- 小運動会
 - ・活躍の場をつくり、絆を深めることで、学級や学年、学校への所属感を高める。
- 健康教育、安全防災教育の推進

—たしかで するとい【あたまづくり】—

- 授業を[進める]ではなく、授業で[育てる]
 - ・いかに自己の課題とさせるか。「主体的」なくして「対話」や「深い学び」なし。
 - ・見通しと振り返りの重視（学びの足跡⇒自信と更なる向学心）
 - ・授業力 UP（研修と実践あるのみ 近道はなし！）
- 求められる学力観
 - ・下学年…がんばりが認められて、学習意欲が高まる（粘り強さ）
 - ・上学年…自ら課題を見つけ、自ら学び方を高める（調整力）
 - ・学びの保障、基礎基本の充実（月例テスト）
- 個別最適と協働学習の両立
 - ・効果的な ICT の活用
 - ・交流学习、通級指導、ラーニングサポーター等との連携
- 言語活動の充実
 - ・「国語」がすべての基本。豊かな言語環境を整えよう（発表やプレゼン能力、作文や詩などの創作活動、読書活動）。
 - ・英語活動、英語教育による外国語表現力の育成

【 地 域 】

- スクールガード、PTA 旗振り当番との連携
- 子どもサミット、異校種交流（勝中、八千代高校）、幼保小連携
- 外部資源開発による地域スポーツ教室の推進

【 組織マネジメント 】

- PDCA から CAP・DO へ
Check（評価）Action（改善）Plan（計画）Do（実行）
- 養護教諭、事務職員等の学校運営参画の継続と支援
- 大胆な業務改善の遂行

【 危機管理 】

- 防災教育による子どもたちの危険回避能力の育成
- 迅速適切な初期対応「迷ったらやる！」 ○避難所運営委員会

「授業で育てる」 「行事で育てる」 「みんな育てる」

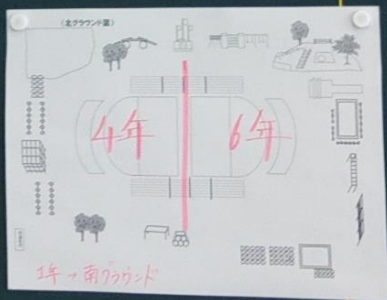
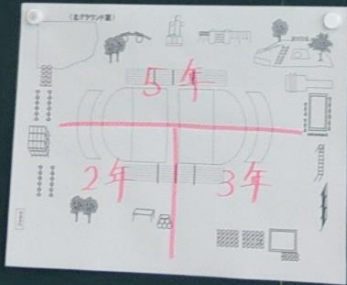
目指す子どもの姿をイメージして、上記3つの‘で’を実践していきましょう！



愛は勝

月 日 曜 T.T 日() 補教

月の昼休み



たしかで
するどい
あたまづくり

やさしく
たくましい
こころづくり

しなやかで
じょうぶな
からだづくり

教育目標

二十一世紀をたくましく
生き抜いていく子ども

氏 名 用 務